

2020 年

福岡自然農塾見学学習会のご案内



耕さず、草や虫を敵とせず、肥料農薬を必要としない
生命の営みに、ひたすら沿う農……

2020 年の幕開けに、福岡自然農塾の特別企画が開催されました。今回のゲストは、30 年間、電気、ガス、水道、電話のない暮しと自然農を営んでこられた富山の石黒さん御夫婦と、赤目自然農塾の代表を、川口由一さんより、引き継いで指導にあたられ、また、自らも、奈良の山間地で、農的暮らしを、営んでこられた、中村さん御夫妻で、会は、早くも予約で満席となり、大盛況に終わることができました。

自然農が指し示す、生命の営みは、本来どうなっているのか、そして、その中で私達人は、いのちの道から外れず、どう生きたら良いのかを、各々が確認することができた、大切な、学びの時となりました。

地球環境の大いなる変化、温暖化などの気象変動や様々な化学物質汚染の進む中、人間社会は、とどまる所を知らない、経済最優先の営みの中で、人は、病み、苦しみ、生命は衰えています。

小雨の中、梅の木にやってきては、花の蜜を吸っている、小さき野鳥たちがなんとも楽しそうに、また、忙しく、花から花へと飛び回っているのが見えます。この小さき野鳥のいのちと何ら変わらず、生命本来のところでは無目的に生まれ死んでゆく私達です。

常に、何かを握りしめている手の平をほどき、握りしめていたものから、解放されて、真に美しいもの、人の人らしい情が奏でる私の一生を各々が全うできたらと思います。

自然とは、自ずから、然しむるです。その上に立ってこそ、全ての生命たちです。

自然農は、まさしく生命の営みのなかにあります。そこには、その地にふさわしい生命が芽生え、あらゆる小さき生命達が、生を謳歌しているその営みの中で、私達は、自らが食む糧を栽培することができます。

種子を降ろし、必要な手を貸し、穀物野菜を育てる時、私も、野菜も、畑も、山も、川も、空も一体の営みの中にあります。このことを、感じる時、人は本来あるべきあり様に気づいていくことができます。このことは、静かな喜びです。いかなる時も、この喜びの中で、明日への一步を踏み出せたらと願っています。

見学学習会の一日の流れ

9:00 集合・受付（松国学びの場―糸島市二丈松国）

9:30 開始

午前中は松国学びの場の見学と畑の実習を行います。その後、一貴山へ移動して昼食をとっていただき、午後は、鏡山農園と一貴山学びの場の見学、田んぼの実習を行います。見学実習終了後は、言葉を交わしながらの学習会となります。参加者の皆さんの質問等に応じ、また、自然農の世界について、深いところから視野を広げてあらゆるテーマで話し合いたいと考えております。

17:00 終了

参加費： 1,000 円

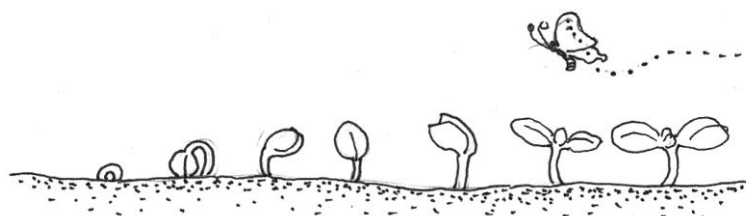
持ってくるもの：軍手、帽子、長靴、あればノコ鎌、弁当（12月は不要）、水筒



2020年 * 年間学習内容

月・日	学 習 内 容	
4月19日(日)	・春の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床作りと種降ろしの仕方 ○春夏野菜の種降ろし数種の仕方 ※お米の種籾を希望の方にお分けします。
6月14日(日)	・田植えを 中心に	○学びの場、実践地の見学 ○夏野菜の手の貸し方、支柱の立て方など ○一貴山の田んぼで田植えの実習、畦塗や水の管理の仕方
8月2日(日)	・夏の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○田の草への応じ方、田の夏の管理について ○果菜類(ナス、トマト、ピーマン、キュウリなど)の手の貸し方 ○秋冬野菜の種降ろし
10月18日(日)	・秋の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○稲刈り、稲架かけづくり及び稲架かけの仕方 ○麦の種降ろし ○畑の野菜への応じ方と手の貸し方
12月6日(日)	・実りを 手にする	○学びの場、実践地の見学 ○お米の脱穀、唐箕、調整(粳摺り、精米) 昔からの道具を使い手作業で行います。 ○精米したお米と自然農の野菜で作ったお味噌汁を その場で炊いていただきます。 (弁当不要。各自、箸、おわん2つ持参)
2021年 1月30日(土) 31日(日) 2月1日(月)	赤目自然農塾主催 自然農全国 実践者の集い 会場：桜井市立 図書館ホール	2020年は、赤目自然農塾が設立されて30周年となります。 川口さんの毎月の御指導を受け、たくさんの方が集い、学び、そして、育っていった学びの場です。 2014年より、川口さんに代わって、中村康博さんが代表となられ、さらに自立した学びの場へと成長し、今も多くの方が学んでいます。 今回は、福岡自然農塾の特別企画をお休みし、是非、私達も共に学べたらと、いう思いで、ご案内しております。 詳しい案内が届きましたら、ホームページ等でお知らせします。
2021年 2月28日(日)	・冬の仕事	○学びの場、実践地の見学 ○お米の苗床の準備(畑の作物の苗床作りにも応用できます。) ○新たに畑の畝を立てる、低くなった畝を立て直す。 ○エンドウの種おろし等

* 毎回、種の交換コーナーを作りたいと思います。余分に採れた種を皆で持ち寄って分け合しましょう。



《見学学習会についての問い合わせ先》

鏡山 TEL 092-325-0745
 村山 TEL 090-7927-2726
 木下 TEL 090-8418-5801

福岡自然農塾の各学びの場と農園

福岡自然農塾（代表：鏡山 悦子）とは、松国、一貴山、花畑の3ヶ所の学びの場と農園を総称しての名称です。見学学習会においては、主に松国と一貴山がその対象となります。個々に農園等を見学されたい方は、必ず前もってご連絡ください。



松国自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈松国 ◆代表 村山 直通[090-7927-2726]

現在、55名の方が年間を通して、自然農のお米づくりと野菜づくりを学んでいます。

田んぼが約2.2反、畑約3.5反、果樹1反で一人当たりの広さはそれほど広くはありませんが、週末や休日を利用して福岡市内や近郊より通って楽しく学んでいます。毎月1回（第2日曜日）に指導と共同作業をやっています。

周囲の斜面や山林もお借りして果樹やシイタケの栽培も含み、総合的な学びを心がけています。

一貴山自然農塾 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山英二[092-325-0745]

一貴山は松国から、少し山手に入った、空気と水のきれいな中山間地の棚田地帯です。2002年に学びの場が開かれ、鏡山家を中心にして現在30名が学んでいます。広さは田と畑を合わせて約8反ほどあり、1人当たりの広さもかなり広く、将来の農的暮らしを見据えての学びの場です。自然農に目覚めるのは、農地を持たない都市生活者が多いですが、具体的に農的暮らしを始めるとなると、一貴山のような中山間地の放棄された棚田がいろいろな視点から最適だと思います。平地にはない厳しさもありますので、生きるための総合力を身に付けられたらと思っています。

鏡山農園 ◆所在地 福岡県糸島市二丈一貴山 ◆代表 鏡山悦子[092-325-0745]

1992年より夫婦で自然農を学び始め、今年で29年目を迎えます。唐原と上の山での学びを経て、1996年より一貴山で自然農を営み始めました。1999年には家を建て、長年の夢であった農的暮らしが始まりました。現在は、田んぼ8畝、畑3反、果樹地1反を営んでいます。果物を加工したり、コンニャクや豆腐を作ったり、日々の暮らしに田畑の恵みを様々な利用する知恵は、昔は当然だったことを、今は一つ一つ学びながら自らに備え、次の世代にも伝えていくことが静かな喜びです。今年はお醤油造り3年目です。昨年は一気に8家族が醤油造りに取り組み、先日、各々1年分の醤油を搾ることができました。また、ニホンミツバチを飼い始めて9年目になります。感動がいっぱいです。

木下農園 ◆所在地 福岡県糸島市加布里 ◆代表 木下 まり[090-8418-5801]

自然農に切り替えて今年で26年目になりました。糸島半島の海沿いの温暖な地域にあります。田んぼは2反2畝ありますが、そのうち8畝程でお米を作っています。今年、新しい仲間が加わり更になんか楽しくなりそうです。畑は7畝で、自給用の米と野菜はほぼまかっています。食卓を囲む家族の人数も少なくなり、作付面積を少なくしたり、周りの方にお分けすることも増えました。農園の周囲は慣行農法の田に囲まれています。獣の害はあまりありませんが、カモの食害や、潮風の害が、まれにあります。また、近隣の田と水を入れる時期の調整など、ここなりの工夫も要します。ニホンミツバチは2回目の冬越しが叶い、蜂蜜、醤油、味噌、とうぼんじゃん豆板醬、マスタード等、自然の恵みを日々楽しんでいます。

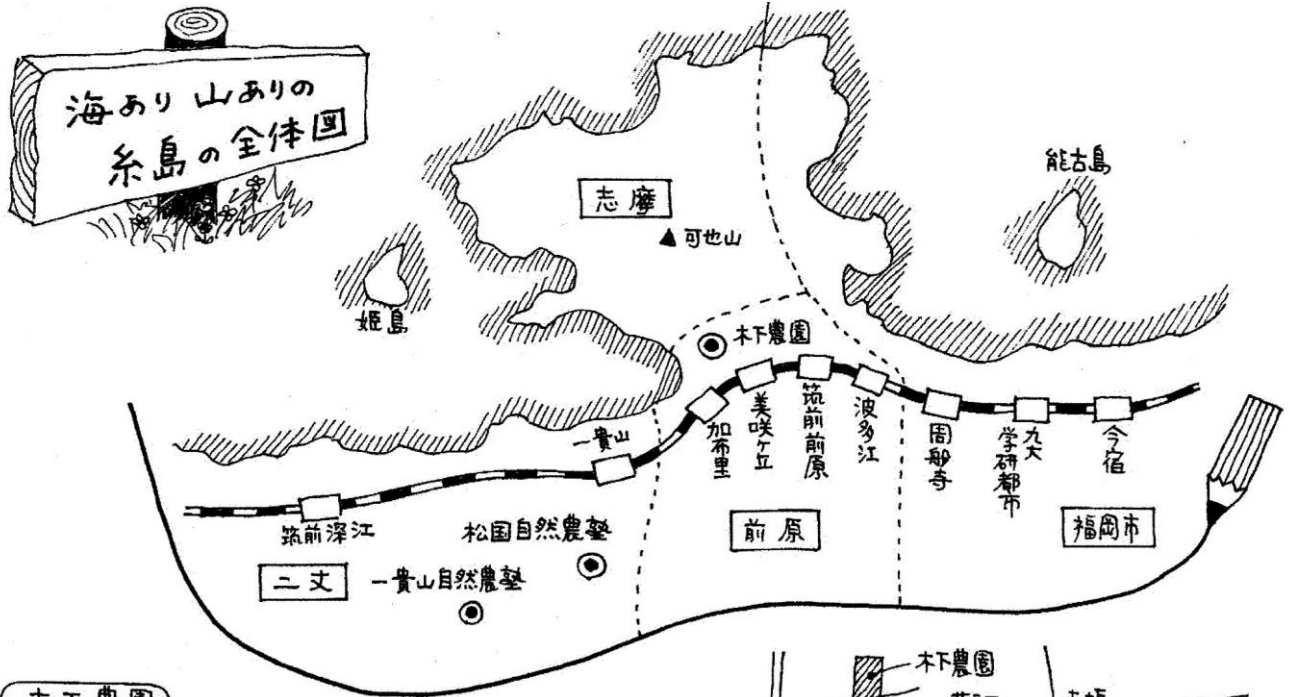
花畑自然農塾 ◆所在地 福岡市南区花畑3丁目 ◆代表 村山直通[090-7927-2726]

都市の中の自然農学びの場です。現在28名が約2反の畑で学んでいます。下記の日程で見学会を開催しています。

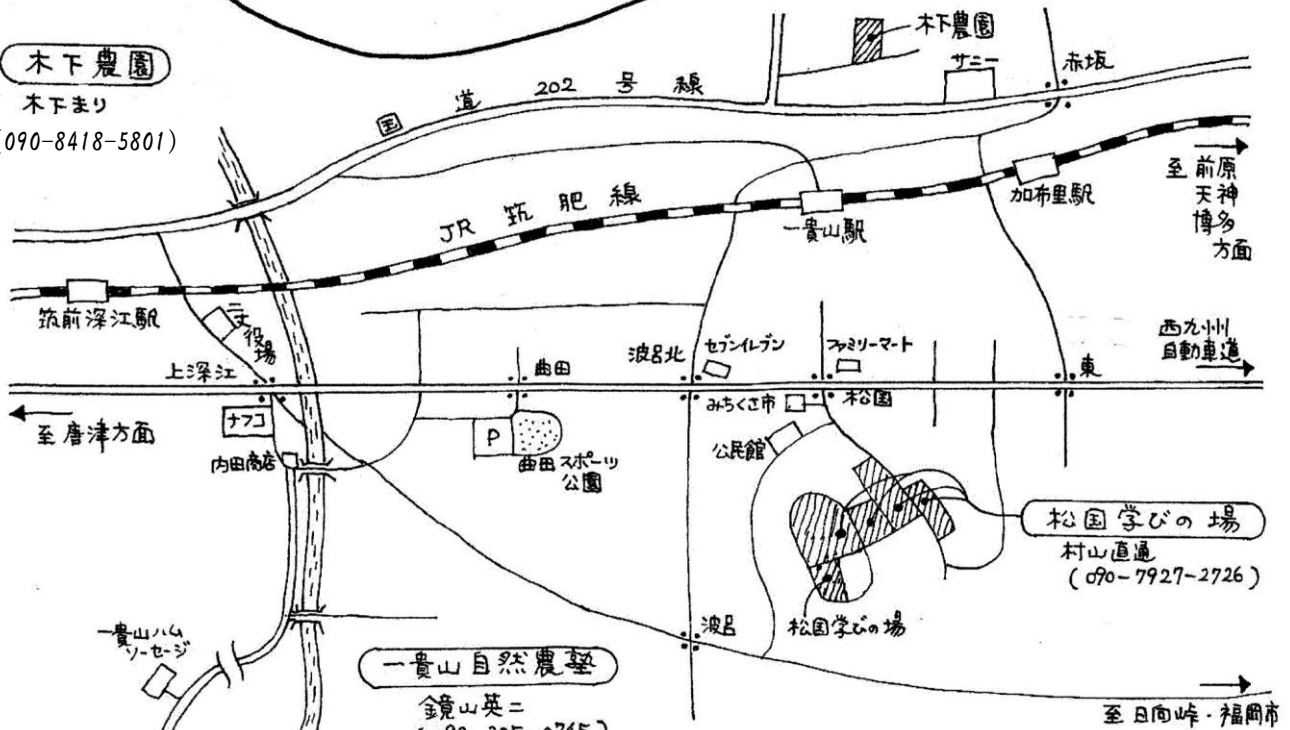
<花畑自然農塾見学会>2020年の予定

3/1(日)、5/3(日)、7/5(日)、9/6(日)、11/1(日)、2021年1/10(日)

集合場所：福岡市南区花畑3丁目 花畑小学校正門付近 集合時間：午後1時30分 (参加費無料)



木下農園
木下まり
(090-8418-5801)



一貴山自然農塾
鏡山英二
(092-325-0745)

鏡山農園
鏡山悦子
(092-325-0745)

